



華となれ!

宮城県仙台二華中学校
学校だより 第15号
【発行日】 令和2年2月14日
【連絡先】 022-296-8101
【文責】 副校長 加茂 博行

【校訓】 『進取創造』『至誠貢献』

【教育方針】 豊かな心と高い知性を持ち、進取の気風と創造性にあふれ、社会のリーダーとして、わが国や世界の発展に貢献できる人間を育成する。

※題字「華となれ!」には、社会に貢献できる真のリーダー（「華」＝社会の中心）となってほしいという願いを込めています。

温暖化の影響!? 雪はどこへ 中1SR冬巡検

1月20日(月)に、年に3回行われるSR巡検の最後となる冬巡検が行われました。例年ならば、気温は氷点下の中、20～50cm降り積もった雪をかき分けて、やっとのことで「われわれの木」を探し当ててのですが、今年は午前中の気温が6度を超え、雪はほとんど無く、あっという間に観察に入ることができました。

異例づくめは天候ばかりでなく、冬巡検で二華中始まって以来のハプニングも起きました。なんと、春に選んだ「われわれの木」の一本が、切り倒されていたのです。その木はもう10以上に切り分けられていて、観察どころではありませんでした。ところがその班は、木のパーツをジグソーパズルのように地面に並べて、木の様子を復元し、観察を始めたのです。それだけでも驚いたのですが、観察した生徒たちは「今までの私たちの観測の仕方では、木の高さを正確に計測できていなかったということが分かりました。何が問題だったか原因を考えたいと思います」と話したのです。

切り倒されたことで、実際に根元から木のてっぺんまでをメジャーで測ることができて、その結果から、自分たちの計測に課題を見つけることができたのです。生徒たちの探究心に心から感心しました。

午後はスノーシューを履いて、オーエンス泉ヶ岳周辺をスノーハイクする予定でしたが、雪不足でスノーシューが壊れる恐れがあったため、スノーハイクは中止となりました。生徒たちは急遽多目的ホールを借りて、すぐにデータの整理を始めました。春や秋の相対照度と比較したり、胸高直径の変化を見比べたりしながら、「われわれの木」の1年間の変化を、数値から読み取っていました。

SRの目的の1つは、身近な自然現象や生命活動を科学的に理解することです。今回学んだ観察の作法を、今後行われる北上川フィールドワークやSRポスターセッションに生かしてほしいと思います。



胸高直径を測る準備をしています。



スノーハイクが中止となり、データのまとめをしています。

2泊3日を英語漬けで暮らす 2学年でイングリッシュキャンプ開催

2月5日（水）から2月7日（金）にかけて、東北自治総合研修センターにおいて、2年生のイングリッシュキャンプが開催されました。

この行事は二華中ができて2年目から行われている行事で、最終日に英語によるプレゼンテーションの発表会が行われるのも、恒例となっています。

キャンプ中は、ほぼすべての活動で、生徒8～9名の班にALTが1人つきます。最初は初対面のALTに遠慮がちな生徒たちも、様々な活動をする中でどんどん距離が近くなり、共により良いプレゼンテーションを作り上げるためのチームとなっていきます。

そして、いよいよ最終日のプレゼンテーション大会。流暢な英語でジェスチャーを加えながら、ときにユーモアを交えつつ、堂々と発表する様子に感心しました。英語を苦手としている生徒も、一生懸命に自分に割り当てられた部分を暗唱し、精一杯役割を果たそうと頑張っていました。

プレゼンテーションで取り上げたトピックも、スポーツや宗教、コスプレなど多岐にわたっており、興味深く聞くことができる内容で、工夫が感じられました。英語を座学で学ぶだけでは、英語で表現することの楽しさを味わうことができません。英語を使ってALTと絆を深め、楽しく表現した今回の経験を、英語を学ぶ意欲につなげてほしいと思います。



ALTにたくさん質問する生徒たち



武士道精神をプレゼンするグループ

生徒会活動をアピール 生徒会掲示板を新たに設置



新しくできた生徒会の掲示板。スローガンが紹介されています。

「2階の掲示板で使用していないところを、生徒会掲示板として使っていますか？」

就任して間もない10期生徒会のメンバーから、こんなお願いがありました。二つ返事で承諾すると、さっそく生徒会執行部が、2階に生徒会の掲示板を上げました。これまでは、3階に生徒会掲示板があったのですが、3階だとなかなか生徒の目に触れません。そんな課題を解決するために、執行部がアイデアを出したのです。

今回、紹介されたのは10期生徒会スローガンです。スローガンは「十（てん）期の子～今から晴らすよ」です。通うのが楽しみになる学校づくりには、生徒会の力が欠かせません。

生徒自ら、自分たちがより快適に過ごせるルールを考えたり、生徒会主体の行事を提案したりするなど、新しい活動にも期待しています。